

ほくでんグループDXの 取り組みについて

2021年11月5日

北海道電力株式会社



■ トップメッセージ

ほくでんグループを取り巻く経営環境は、競争の激化とともに、脱炭素化や新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、お客さまの価値観やライフスタイルが変容するなど、急速に変化しています。

経営環境の変化をグループが進化するための好機と捉え、これからも成長を続けていくために、ほくでんグループはDX（Digital Transformation）の考え方を積極的に取り入れ、これまでの業務のあり方をデジタル技術を用いて柔軟に見直すとともに、その取り組みを通じて、変化に挑戦するマインドをより強固なものにしていきます。この「デジタル技術を活用した業務変革と、変化に挑戦しつづけるための意識変革による企業改革」を“ほくでんグループDX”として、重点的に推進していきます。

今年4月には、この取り組みを加速するために社内に専任組織を立ち上げました。専門的な人材の育成や社内の情報インフラ環境の整備とともに、組織横断的に業務変革・意識変革に向けた検討を行うほか、これまでも取り組んできた“カイゼン”とのシナジーにより、経営環境の変化に柔軟に対応し、時代に即した事業を展開していきます。

ほくでんグループは、“ほくでんグループDX”に全力で取り組み、総合エネルギー企業としてこれからも責任あるエネルギー供給の担い手としての役割を全うし、事業の持続的な成長と持続可能な社会の実現に努めていきます。



取締役社長 藤井 裕

■ ほくでんグループDXの推進に向けたビジョン

- 経営基盤強化策の一つとしてほくでんグループDXの推進に取り組み、グループ経営目標の達成を目指します。

グループ 経営目標	連結経常利益230億円/年以上※
--------------	------------------

▲

収入拡大・費用低減

経営基盤強化策

DXによる抜本的な業務変革・組織能力の強化

カイゼン活動を通じた生産性向上

利益拡大分野への優先的な人員増配置

■ DXの必要性

- グループ経営目標達成に向け、経営環境の激変に的確に対応していくためには、DXによる業務変革・組織能力強化が必要不可欠。

■ DXの目的

- デジタル技術の活用による、限られた部門や一部業務の業務効率化・高度化に留まらない業務変革を実現する。
- 変革へのチャレンジを通して、従業員の意識、行動変革へ結びつけ、常に変化する経営環境へ対応するマインドをもった人材を育成する。

« ほくでんグループDXの定義 »

「デジタル技術を活用した**業務変革**」と
「変化に挑戦しつづけるための**意識変革**」による**企業改革**

※「ほくでんグループ経営ビジョン2030」より、
フェーズ1（泊発電所稼働前）目標値

ほくでんグループDXの推進方針とターゲット領域

- ほくでんグループDXの推進に必要な風土醸成、人材育成に取り組み、新たな技術・知見を取り入れることで、ビジネス領域の拡大を進めていきます。

DX推進方針

風土醸成

- ほくでんグループDXの推進を加速させるための、全社的なDX意識・リテラシーの向上
- 従来とは異なる、自ら主体的に動き、新たなことにチャレンジする企業風土の醸成

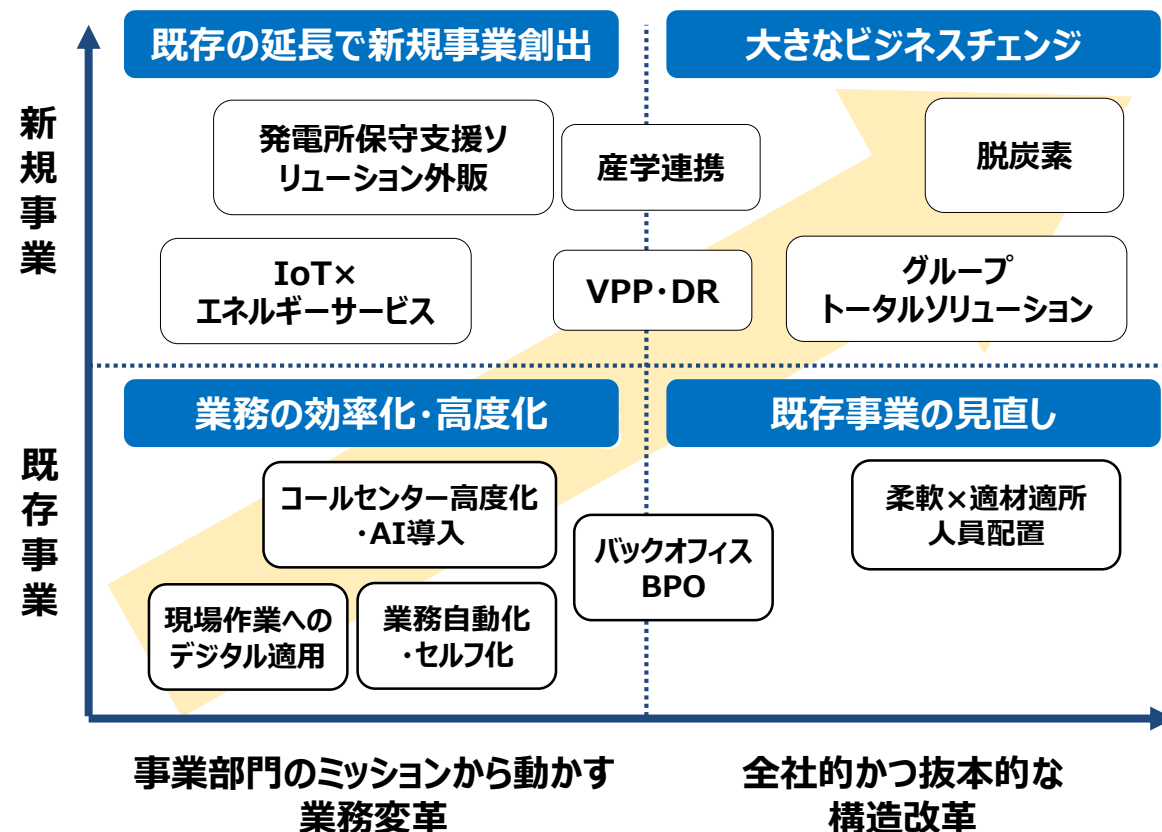
人材育成

- 足元の収益性改善に貢献できる、デジタルおよびコンサルティングスキルを有する人材の育成
- 将来的な大きなビジネスチェンジへも対応可能な、変革推進人材の育成

効果創出

- 短期的(2~3年)に効果が期待できる、既存事業の効率化・高度化へのデジタル活用の推進
- 新たな収益源確保に向けた新規事業領域へのデジタル技術の適用余地の検証や既存事業の見直しへの寄与

ターゲット領域



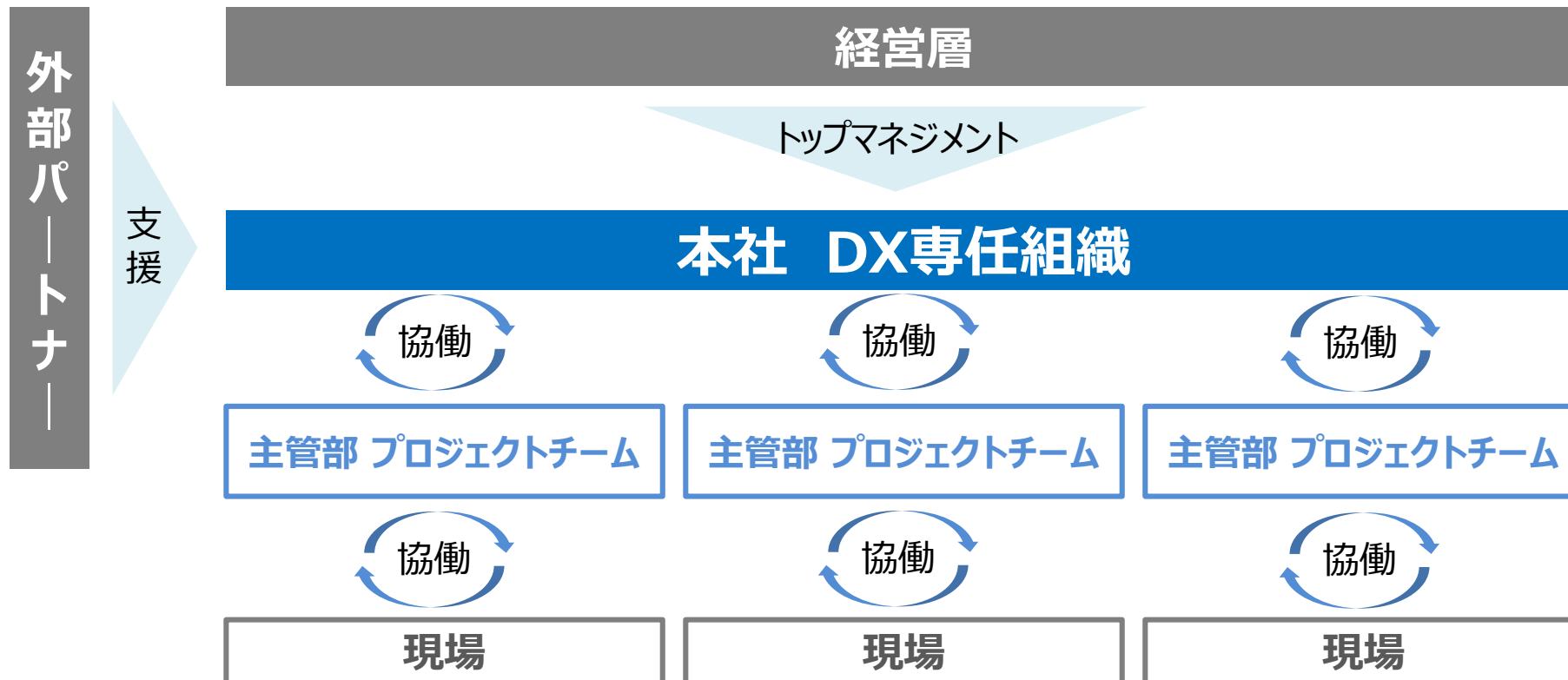
注) VPP(バーチャルパワープラント)：需要家等が、そのエネルギーリソースを制御することで発電所と同等の機能を担うこと

DR(デマンドレスポンス)：需要家側エネルギーリソースの保有者等が、そのエネルギーリソースを制御することで電力需要パターンを増減させること

ほくてんグループDXの推進体制

- 経営層の強いリーダーシップのもと、情報通信部に新たに設立したDX専任組織がリード役となり、各事業部門の取り組みを推進していきます。

ほくてんグループDX推進体制



ITシステム・デジタル技術活用環境の整備

- ほくでんグループDXの推進を行ううえで必要不可欠なITシステム・デジタル技術活用環境について、各種リソースの整備を進めています。

リソース	主な施策
IT・インフラ環境整備	<ul style="list-style-type: none"> • 事業部門間、会社間の横断的なデータ利活用を促進するための情報インフラ基盤の整備 • 初期投資の低減や構築スピードの向上、柔軟な拡張性の確保等を目的としたクラウド活用の推進 • レガシーシステムについて、費用低減を考慮した確実な刷新（脱却・移行）を実現



■ ほくでんグループ°DXの重要目標達成指標

- 重要業績評価指標（KPI）を設定し、達成度を可視化・モニタリングすることで、ほくでんグループDXによる変革を確実に進めます。

DX推進方針	KPI	詳細説明
風土醸成 	DX取り組み事業部門数	全ての事業部門においてDXプロジェクトに取り組み、変化に挑戦し続ける企業風土を醸成する
人材育成 	DX推進人材の育成人数	＜社内＞ 事業部門の変革をリードできるDX推進人材を育成する ＜社外＞ 道内企業のDX推進を支援できる人材を育成し、北海道の持続的発展に貢献する
財務効果創出 	DX取り組みによる累積収支	既存業務効率化によるコスト削減や新規事業創出による売上拡大に取り組む